

主 文

本件申立を棄却する。

理 由

刑訴五〇一条による裁判の解釈を求める申立は、刑の言渡をした裁判に対してのみ許されるのであるから、上告棄却の判決に対する本件申立は不適法である。

よつて裁判官全員一致の意見で主文のとおり決定する。

昭和二八年五月二六日

最高裁判所第三小法廷

裁判長裁判官	井	上	登
裁判官	島		保
裁判官	河	村	又 介
裁判官	小	林	俊 三
裁判官	本	村	善 太 郎